

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 210号

平成21年7月1日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で..

久慈農業改良普及センター 公式

検索

○ 久慈地域の産直活性化に向けて ○

～久慈地域産直連絡協議会が設立されました～

6月19日、久慈地区合同庁舎で、久慈地域の産地直売活動に取り組む団体の連携組織「久慈地域産直連絡協議会」の設立総会が開催されました。

産地直売所は、消費者の安全・安心志向から人気が高まっている一方、会員の高齢化、販売額の伸び悩みなどが課題になっています。こうした課題の中には管内産直の連携が必要な課題も多く、産地直売所間のネットワークづくりが求められていました。そこで、昨年7月から、管内産地直売所の代表者が話し合いを重ね、4市町村の15の団体により連絡協議会が設立されました。

総会では規約や事業計画を決め、初代会長に野田村産直ぱあぶるの米田栄行さんを選出しました。

米田会長は「産直は高品質な農産物の販売を通じて、集客力を向上し、農家所得の増加と地域活性化を図る事がねらい。久慈地域の産直が一緒になって頑張っていきたい」と挨拶し、課題解決に向けて連携して取り組んでいくことを確認しました。

今年は、先進地域の視察や消費者との意見交換等を行う予定で、新たな取組みが始まろうとしています。



設立総会



設立総会后実施された、農産物や加工食品の表示に関する研修会

○ 園芸品目のさらなる飛躍を目指して ○

～ 久慈地域園芸出荷式が行われました ～

6月16日、JA新いわて久慈営農経済センターニツ屋野菜集出荷場において平成21年度久慈地域園芸出荷式が行われました。

JA新いわてでは今年度から農畜産物販売額500億円を目指す日本一の産地チャレンジ運動を展開しています。出荷式では、これを受け野菜部会長から「久慈地域として5年後に園芸品目17億円を達成する」という力強い決意表明がありました。続くテープカット、万歳三唱の後、ほうれんそうなど2千6百ケースを満載したトラック2台が京浜地域に向け出発しました。



トラック出発に先立ちテープカット

久慈地域はヤマセによる夏期冷涼な気候を活かしたほうれんそう産地として知られていますが、ここ数年は夏期高温による出荷量の伸び悩みが続いていました。しかし生産者と関係機関が一体となり対策を講じてきたことから出荷量が徐々に回復に転じている所です。また、菌茸類も着実に育っており、販売目標の早期達成とともに園芸産地として一層の飛躍が期待されています。

○ 久慈市の生産者が今年度の稲作について語り合う ○

～ JA新いわて久慈地域稲作部会久慈支部通常総会が開催されました ～

今年度の田植えも無事に終了した、去る6月12日にJA新いわて久慈地域稲作部会久慈支部(部員総数19名)の通常総会が開催されました。

久慈支部は、旧久慈市農協時代から産米調製作業などを受託している担い手農家によって組織されている、少数精鋭の支部です。

総会には、部員9名が出席し、外城利彦支部長のあいさつに続き、支部の事業や予算等の議事が検討されました。参加者からは、支部員の資質向上と意識高揚のため、昨年度は実施できなかった視察研修を是非とも行うよう意見が出されました。また、JAの広域合併後の生産部会等の組織体制のあり方について意見が出されるなど、今後の部会活動の展開についても議論されました。



あいさつする外城支部長

総会後には部員同士が農作業の状況について情報交換したり、久慈市大川目地区で実証試験が行われている水稲直播栽培やロングマット苗移植栽培など、今後の低コスト稲作や斑点米カメムシー斉除等、品質向上対策について熱心に意見を交わしました。

○ 技術情報 ○

◇◆ ほうれんそう ◆◇

1 ベと病対策

これからの作型は、べと病の発生が心配されます。ハウスの換気や防除を的確に行い、被害を防止しましょう。

この時期の作付け品種「プリウス」「スーパースター」は、べと病のレース1～5に抵抗性を持っていますが、油断は禁物です。ハウスの換気につとめ、過湿にしないように十分注意してください。降雨時も、ハウスを締め切らないようにし、両ツマ面は解放し空気がこもらないようにしましょう。薬剤による防除も、子葉期からの散布をおすすめします。

①子葉期 → ②本葉2～3枚時 → ③本葉5～6枚時

ヨネポン水和剤 ランマンフロアブル アリエッティ水和剤

(又は、ランマンフロアブル)

※ 多発が予想されるハウスでは、上記に替えて、播種時にリドミル粒剤2を使用してください。

2 高温対策

暑いときの安定生産は、ツマ面のビニールの解放がポイント!です。ハウスの側面ビニールだけでなく、前後のツマ面ビニールを開放し、できる限り換気に努めてください。

播種時と収穫時には、遮光幕を掛けてハウス内の温度を下げます(発芽を確認したら夕方外す)。資材は、ダイオシート(黒、遮光率80%)、ミラクール(白、遮光率70%)等を使います。

生育中に高温が続く場合は、寒冷紗、クールホワイト等(遮光率30%程度)で遮光しますが、曇天など日射量が少ない日が続く場合は、こまめに外して徒長しないようにしてください。

生育が止まりそうな場合は、本葉4枚の頃に葉水程度の散水を行います。(ただし、収穫7日前以降は絶対行わないこと)

◇◆ 水 稲 ◆◇

★ 生育状況を見て、茎数が十分確保できたら中干しを行いましょ

★ 斑点米の原因となるカメムシが増えないように、水稻の出穂15～10日前まで(7月下旬が目安)に畦畔等の草刈りを行いましょ

★ 穂いもち予防粒剤は7月下旬に施用しましょ。

1 水管理(中干し、深水かんがい)

(1) 6月末～7月初めに茎数が1株当たり20～25本位に達したら、中干しを行いましょ。水稻の健全な生育促進の他、秋作業も楽になります。

(2) 中干し後は徐々に水を入れて、幼穂形成期には水深が4～6cm(前歴深水かんがい)、減数分裂期には水深10cm程度の深水にします。特に気温17℃以下の低温が予想される時には、水深15cm以上にしましょ。

2 斑点米カメムシ類について

(1) 斑点米カメムシ類の増殖や水田への侵入飛来を防ぐため、水田畦畔、牧草地、雑草他、農道等の草刈りを地域一斉に行いましょ。

(2) 草刈時期は、水稻の出穂15～10日前(7月下旬が目安)です。

3 いもち病

(1) かけはしや「あきたこまち」等、いもち病に弱い品種では、穂いもち対象の予防粒剤を7月下旬に忘れずに施用しましょ。

(2) 葉いもちが発生した場合には、予防粒剤(箱施用・本田水面施用)の有無にかかわらず、直ちに粉剤や液剤で茎葉散布を実施してください。

◇ ◆ 花 き ◆ ◇ りんどう今月の管理

1. 病気に注意！

○葉枯病の防除

茎の伸びが止まる頃から感染しやすくなります。
特に定植初年度の葉枯病は将来にまで影響します。

高温で雨が続くようなら特別散布を。

○褐斑病の防除

六月下旬から重点防除時期です。

効果の高い体系で薬剤散布を行ってください。

防除暦に沿って、うねの内側、下葉によくかかるように散布してください！

2. ハダニに注意！

○ハダニの防除

①6月上旬のダニ剤の散布は実施しましたか？

②その後、発生を見たら速やかに、そして葉裏に、ていねいに、2剤目、3剤目を薬剤散布！

○除草も忘れずに

圃場周辺の除草を行って、ダニの住処を無くしましょう！

◇ ◆ 飼 料 作 ◆ ◇

【草地更新の除草剤処理同日播種法】

「牧草地に裸地や雑草が多く見られるようになったなあ」と、草地更新をお考えの方に雑草の防除と播種を同日に行う「除草剤処理同日播種法」をご紹介します。

【更新計画（スケジュール案）】

6月下旬	ギシギシが多い場合、 あらかじめ駆除します。	ハーモニー75DF水和剤 10a当り3~5g/100Lの水で希釈して散布する。 ※2番草を刈取る場合は、刈取りまで21日間あける。
7月 20~30 日前後	プラウ+炭カル+ロー タリー+整地	苦土タンカルを100~150kg/10a撒きます。 (播種予定日の40日前を基準に耕起整地)
8月	雑草の生育を待つ (20日間前後)	雑草の高さが20cm前後になるまで待つ。
8月下旬 ※播種日は、 初霜より30 日以上前に行 います。	除草剤(※)+播種+施 肥+鎮圧2回以上！！ (1日で処理)	雑草の発生が揃った時点で除草剤(※)の散布 を行い、葉面が乾いたら、播種と施肥を散布し、 ローラーで鎮圧します。 ※ラウンドアップハイロード 10a当り500ml/50Lの水で希釈

除草剤の散布は、晴れた日を選び、散布後、葉が乾いてから、播種と施肥を行います。

作業を1工程省くため、肥料と種を一緒に散布する場合は、良く混ぜてから散布機に投入します。
混合を十分に行わないと、比重の関係で種が散布されず、残ることがあります。

播種後は、鎮圧が非常に重要です！十分に鎮圧することにより、土壌中の水分が十分に保持され、
発芽率を高めます。ローラーなどで、2~3回往復しましょう。

○播種量： イネ科とマメ科を混合し、播種量は、2.5kg/10aが推奨です。

オーチャードグラス 2.1~2.2kg/10a

ラジノクローバー(白) 0.4~0.5kg/10a など